



八王子まちなか

景観みらいものがたり

～実現させたい未来のおはなし～

八王子まちなか

景観みらいものがたり

く実現させたい未来のおはなしく

この景観絵本は、市民や専門家などが考えた八王子まちなかの未来の姿です。これをきっかけとして、「こんな場所で、こんなことができたらいいな」という想いを多くの人と共有していきます。

とうきょうとはちおうじし ゆた みどり れきしぶんか
ここは東京都八王子市。豊かな緑や水、歴史文化にあふれたまち。
まちなかから西のほうを見ると、にほんいさん こうせいぶんかざい
日本遺産の構成文化財である、
たかおさん はちおうじじょうせき しゅうへん
高尾山や八王子城跡、周辺の山や川が見える。

ゆた めぐ こうしゅうかいどう しゅくばまち そうと
豊かな山々の恵みがあって、甲州街道の宿場町“桑都”は、
さか
栄えてきたんだって。
みらい けいかん たび
今日はそんなまちなかの「未来の景観」を旅してみよう。

たかおさん
高尾山

はちおうじじょうせき
八王子城跡

こうしゅうかいどう
甲州街道

あさかわ
浅川

八王子まちなか

STEP 1 まちなかの中心、八日町交差点から東へテクテク

おおー！

やっぱり八王子のオモテ通り、甲州街道は広くて格好いいね！

暖簾や太鼓幕で「織物のまち」らしさを、

祭り提灯で「八王子まつり」や「町人の歴史」を感じるな。

洗練されたみちのデザインと、建物の低い部分が目線の高さで

つながるからこそ、歴史文化が際立って見えてくるし、

桑都の誇りを感じられるのかな。

あっ、建物の隙間から、奥が見え隠れしてるよ。

あの奥はどうなっているんだろう？



STEP 2 甲州街道の老舗をテクテク通り抜け

奥が気になって、建物の隙間に入ってみると、
古い蔵に囲まれた細い路地になっていたよ。
路地の先には大きな空が見えるユーロード。
通りに開いたつくりのお店がたくさんあって、
おもてなしムード満点！

街路樹が大きいのでのびのび育っているし、
手入れが行き届いたキレイな草花は地植えになっているのかな。
車は来ないし、木陰で休めるし、
特別な用事がなくても歩きたくなるなあ。



大きな空が見えるユーロードはナナメのみち。
ちょっと珍しい気がする！
タテとヨコの通りが交^{まじ}わるところには三角公園が
3つあるんだって、おもしろいよね。

公園は、道との境^{さかい}があいまいで広^{ひろ}びろとしていているから、
気持ちよくゆったりできそう！
道の向^むこ^{がわ}う側のお店から、公園を眺^{なが}めるのもよさそうだなあ。
あっちでゆれているのはヤナギかな？



STEP 4 三角公園から路地をブラブラ

少しドキドキしたけど、公園から見えるヤナギにつられて
黒塀路地に入ってみたよ。
今に生きる「花街」、伝統と文化が薫る粋なまちには
きものがよく似合う！

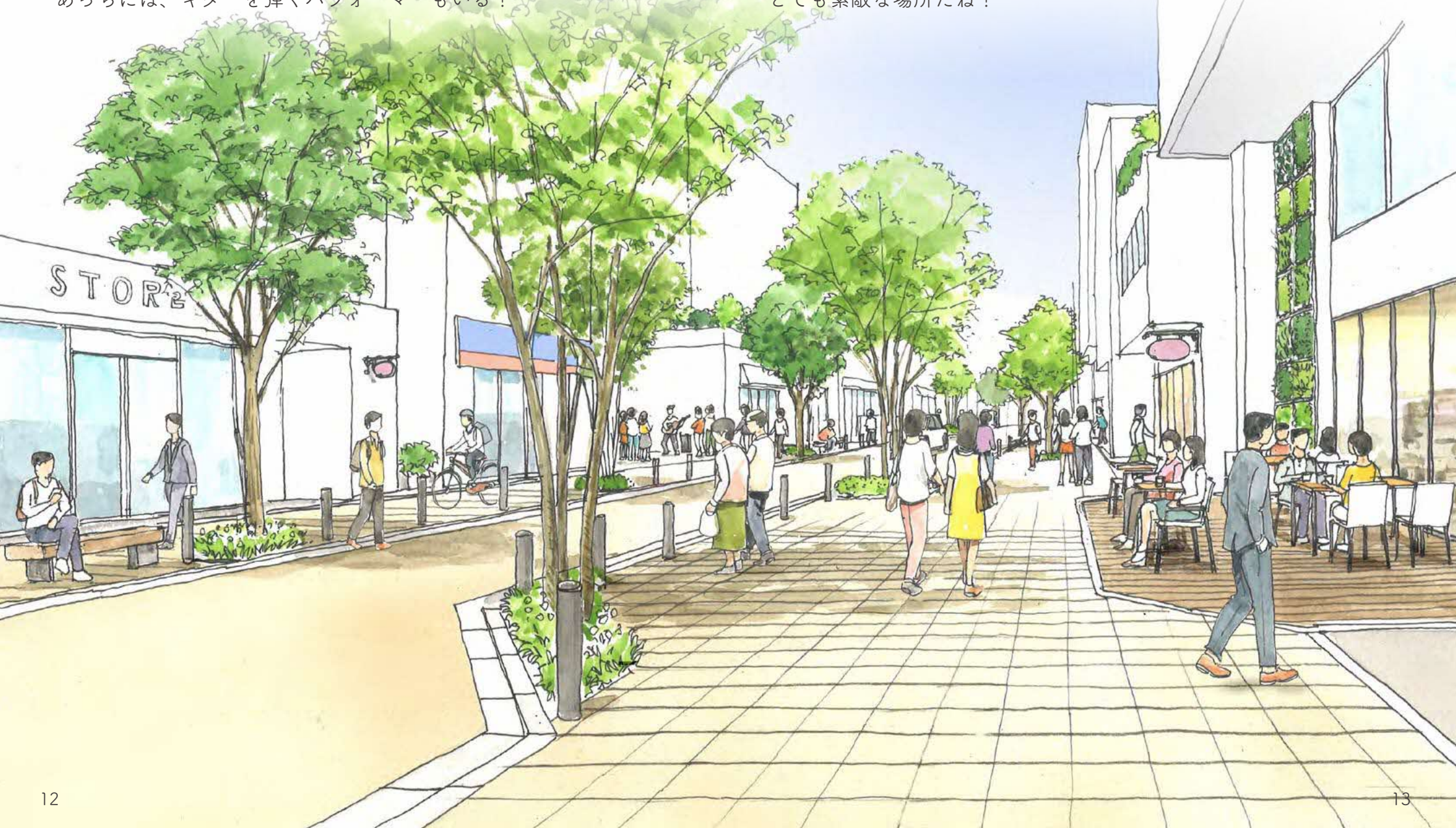
こだわりの舗装と切妻屋根の建物、暖簾がいい雰囲気だね。
ヤナギやモミジ、道ばたの緑たちも、まちを引き立てているみたい。
あの建物はさらに奥に入っていけそうだよ！
わたしも今度、きものを着て遊びに来ようっと。



STEP 5 ^{なかちょう} 中町のウラ通りを東へブラブラ

ここは広場かな？公園かな？なんだか^{すてき}素敵な^{ばしょ}場所じゃない？
^{みどり}緑が^{あふ}溢れていて、みんな^き樹の^ぬ間を縫うように歩いているよ。
あっちには、ギターを弾く^ひパフォーマーもいる！

小さな^{たま}たまり場がたくさんあって、どこに行こうか^{まよ}迷っちゃう。
通りだけど、車も人も^{なかよ}ゆったりしていて仲良^なくできる。
とても^{すてき}素敵な^{ばしょ}場所だね！



STEP 6 さらに東へテクテク

今度は、八王子駅に向かう大通り。立派な並木は緑のトンネルみたい！
歩道は広くてベンチがあって、働く人も息抜きできそうだし、
ビルの1階はお店の中の楽しそうな雰囲気が伝わってきて
良い感じだね。

あっちの、細い通りの奥には神社があるのかな？
緑がたくさんある雰囲気が道にもにじみ出ていて
奥に行ってみたくなるな！



STEP 7 近くのウラ通りをブラブラ

この通りは歩道は広くないのに、
なんだか歩きやすい感じがするよ！
緑があったり、建物がうしろの方にあるからかな。

立派な木から小さな花まで緑がつながって良い感じ。
道端の草花さえも素敵に見えるってすごいね！
建物や看板はきっとお店の人の手作りなんだね、本当に素敵だなあ～



いろんなところを歩いてみたね。

オモテからウラへ行き、ウラをブラブラしていると、
またオモテにでられる。

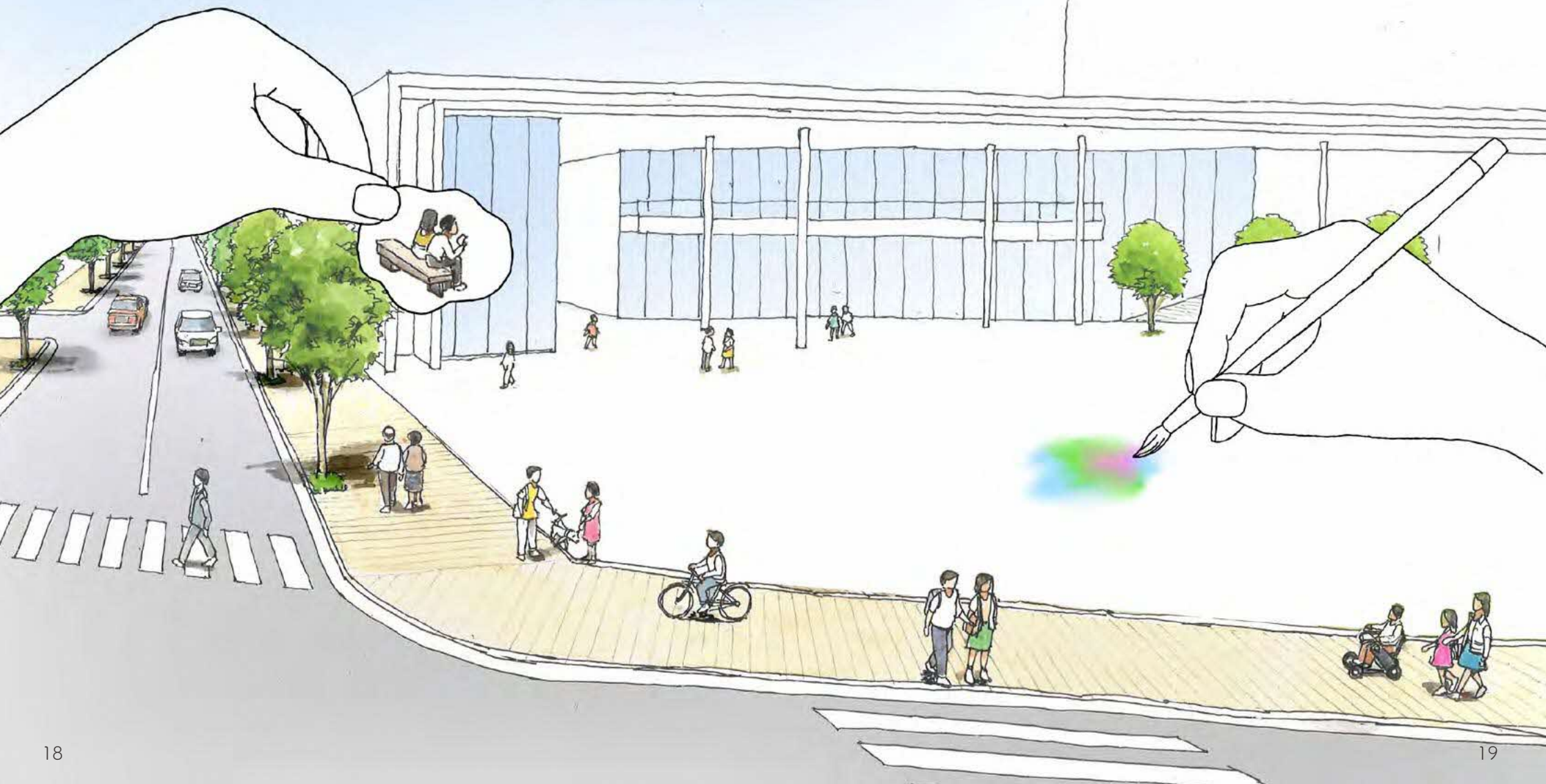
くつろいだり、息抜きできる場所があったり、
みどり れきし かん ばしよ
緑や歴史を感じる場所もたくさんある。

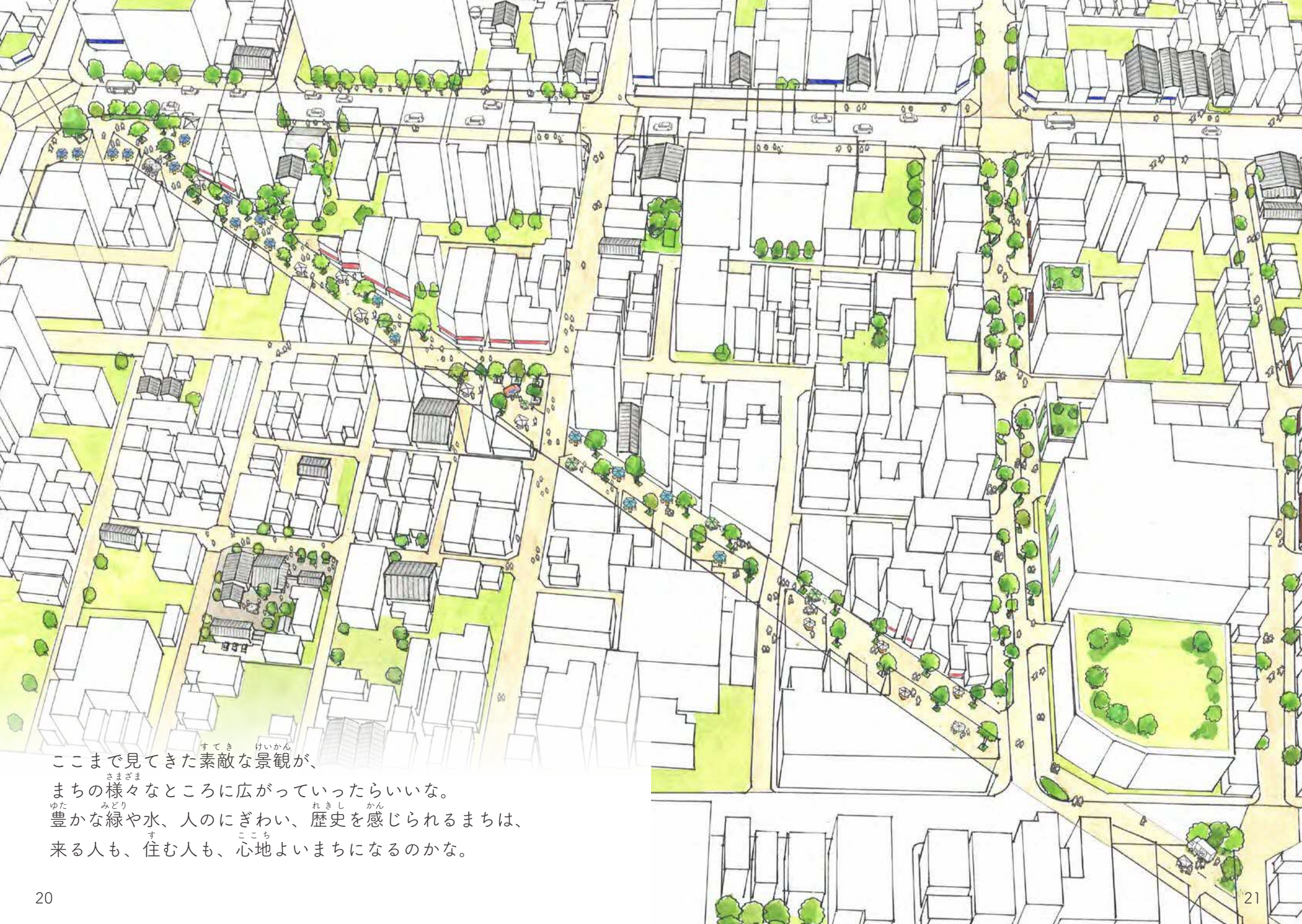
とっても歩いてみたくなるまちだったな。

ここにはどんな未来があるんだろう。

いろんな未来が想像できるよね。

わたしならここで何をしようかなあ・・・





ここまで見てきた^{すてき}素敵な^{けいかん}景観が、
まちの^{さまざま}様々なところに広がっていったらいいな。
^{ゆた}豊かな^{みどり}緑や水、人の^{れきし}にぎわい、^{かん}歴史を感じられるまちは、
来る人も、^す住む人も、^{こころ}心地よいまちになるのかな。



ところで、たくさんの^{すてき}素敵な^{けいかん}景観は、どうやって作られているんだろう。
^{だれ}誰が、何をしたんだろう…

きっと、みんながそれぞれできることを少しずつやったんだろうな。
わたしなら、何ができるだろう…

さらなる^{みらい}未来へつづく 

八王子まちなか
景観みらいものがたり
～ものがたりに込めた思い～

八王子駅周辺の未来の景観を考える
ワークショップ・景観デザイン会議
提案書

発行・編集 八王子市まちなみ整備部まちなみ景観課

発行年月 令和4年(2022年)8月



はじめに

きっかけは、八王子駅周辺の景観を良くしようというお話からでした。私は、まちなかの景観が良くなるには、「魅力的な場所」での「魅力的な活動」という光景^{シーン}が沢山あってこそだと思っています。想像してみました。

八王子のまちなかの魅力ってどこだろう、何だろう…

いろいろな方とお話をしてみました。なかなか具体的に言うのはむずかしく、皆がこれだと思う光景もイメージできませんでした。

八王子駅を中心市街地はとても広いことや、戦災後、多くの人の努力でたくさんの計画が作られ実現してきたためやや部分的になっていたり、わかりやすく市民に浸透していないのからかも知れません。

そこで、オール八王子の人々のなかから、自身が関わって八王子のまちなかを良くしていこうとするシビックプライドを持つ人が、これを実現してみたいと共有できる将来の光景^{シーン}、ワクワクする将来を議論する土台となる将来像としての絵がほしい、と思いました。

それが、この絵本です。

いままでの行政計画の枠にとらわれずに、八王子のまちなかに興味のある有志で、魅力を再発見して、これからの時代に期待することを議論し、いまの子ども世代が大きくなる（30年後ぐらい？）までには実現したらいいなと思える光景^{シーン}を描いています。

日本遺産「桑都物語」のまち八王子の中心として、八王子の多様な文化や歴史が感じられる場になってほしい、住み手も多くなった八王子のまちなかは、今まで以上に楽しく過ごせる場所になってほしい…。

この絵本には、まだまだ沢山の余白があります。これから想いのある人による議論とアイデアによって豊かな景観（空間と活動）が生まれることを期待します。

八王子駅周辺の未来の景観を考える ワークショップ・景観デザイン会議
ディレクター 川原 晋（東京都立大学 都市環境学部 教授）

1 景観絵本「八王子まちなか 景観みらいものがたり」とは？

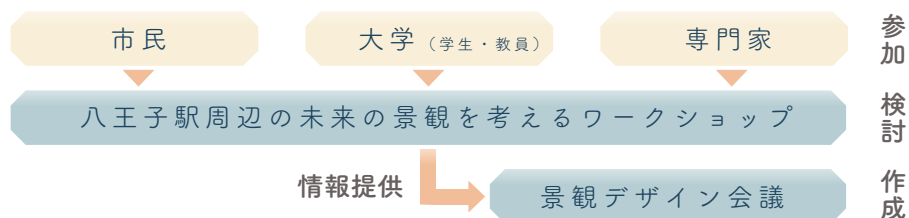
「将来目標をみんなで共有する“フロートビジョン”」です。



景観絵本は、令和2年（2020年）から開始した「八王子駅周辺の未来の景観を考えるワークショップ・景観デザイン会議」の参加者で考えた、八王子まちなかの未来の姿です。

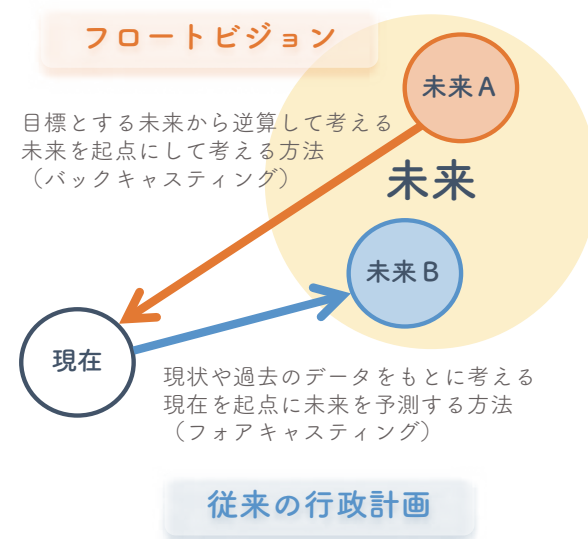
どなたでも八王子の特徴や魅力が気軽に認識できるよう「絵本」という形でまとめました。この景観絵本をきっかけとして、「こんな場所で、こんなことができればいいな」という想いを多くの人と共有していきます。

【参加者・検討体制】



コラム1 フロートビジョン*とは

関わりたい人を惹きつけるようなエリアの価値や光景（シーン）を積極的に示した将来像



「フロートビジョン」とは、関わりたい人、投資したい人を惹きつけるような、そのエリアならではの価値やシーンを描くことを大事にし、尖った提案やワクワクする提案を優先的・積極的に示す将来像の形です。そのために、なぜやるか（WHY）、なにを（WHAT）、どこでやるか（WHERE）は描きます。

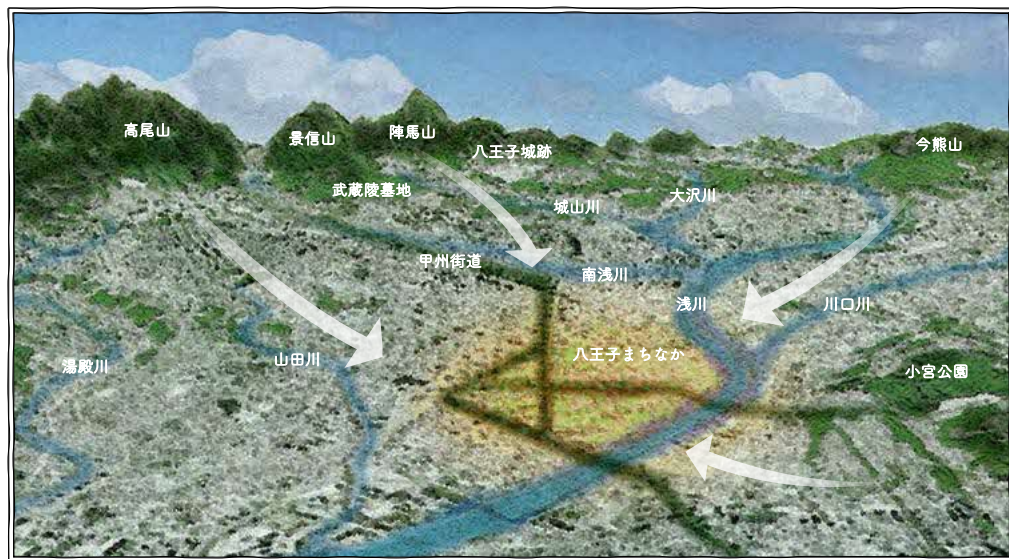
一方で、現実志向になりがちな、だれが（WHO）、いつまでに（WHEN）、どのような方法で（HOW）はあえて棚上げして、無理に行政計画に位置づけずに、“ふわっと”浮かせて、皆で将来像を共有します。なのでフロートビジョン。目指したい将来像を描いてから、逆算して今何から始めるかを考えるバックキャスト型を進め方ともいえるでしょう。

大きな方向性を共有したうえで、関わりたい人や進捗に合わせて、具体的な整備の形や実現方法を工夫していきます。

※日本建築学会「地域観光プランニング小委員会」提唱

2 まちなかは「オール八王子のショールーム」！

豊かな自然とまちが重なり合う奥行きのある景観を活かそう



出典：P2-3 とともに国土地理院 地理院地図を加工して作成

八王子市域には、緑豊かな山々と数多くの水辺があり、古くから集落が形成されてきました。このため、「高尾山」「八王子城跡」「滝山城跡」をはじめとした日本遺産「桑都物語」の構成文化財が多く残っています。

これらの豊かな自然と歴史文化の恵みは、市の中央を流れる「浅川」や、江戸と甲州を結んだ「甲州街道」などを通じて、まちなか（八王子駅周辺）に集まります。

このように、まちなかは、絹織物産業の発展とともに、甲州道中最大の宿場町“桑都”となった歴史文化を表わす、「オール八王子のショールーム」なのです。

コラム2 大切にしていきたい八王子らしい景観

市政モニターアンケート「八王子らしい魅力ある景観づくりについて」（令和3年度実施）からひとつ紹介します。

設 問

『あなたが八王子らしさを感じる景観として、特に大切にしていきたいと思うものは何ですか？』

回答者数 95 名（複数回答可）

順位	選ばれた項目	割合（％）
第1位	高尾山・陣馬山などを市街地から望む山並み	73.7
第2位	甲州街道のイチョウ並木	69.5
第3位	浅川など市街地を流れる河川	49.5
以下14項目		

多くの市民が「高尾山などの山並み、甲州街道の並木、浅川などの河川」を選んでいきます！



八王子景観 100 選

「堀之内沖ノ谷戸公園からの眺望」

市内の市街地からは山並みや富士山も望むことができます。



八王子景観 100 選

「甲州街道のイチョウ並木」

大正天皇の御陵造営を記念して植えられた90年以上の歴史があるイチョウ並木です。

3 まちなかの価値とは

まちの見方を変えたら、まちの価値に気づきました！

まち歩きやまち調べを通して、このエリアでは次の要素が大切な価値であることにあらためて気づきました。

歴史・文化 …桑都として発展してきた歴史

水・緑 …オール八王子の丘陵地、河川

にぎわい …町人が築いた市民力

みちのつくり …甲州街道を軸とした町割形成
戦後に放射線状の道路が付加

行政計画では北が上で駅を中心にした地図による表現をよく見かけますが、歴史・文化、緑・水の軸でまちを捉える計画では、下図（イ）、右図（ロ）のように西を上にした向きで、周囲の丘陵地が立体的に描かれています。さらに古い文献（ハ）でも、八王子十五宿から山を望む景色を描いていました。

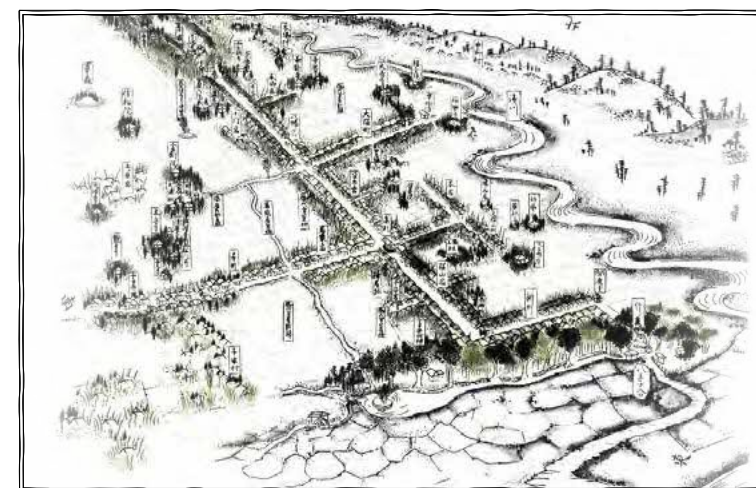
景観絵本でもこれらの視点に倣い P2-3、P30 の図を作成しました。
まちの見方を変えることで、八王子で脈々と築かれてきた大切な価値に自ずと気づいてほしいと願っています。



（イ）八王子市歴史文化基本構想



(口) 八王子市水循環計画



(八) 新編武蔵国風洞記稿

まちの見方を変えるときにもうひとつ大切なのは、駅が中心にない、ということです。まちなかに住む人は増え続けています。

未来のまちがにぎわうためには、このまちを訪れる人のためばかりでなく、「住む人・暮らす人」のためにこそ、まちづくりが必要なのではないでしょうか？

4 八王子プライドを高め、八王子ファンを増やすために

地域で暮らす人のための、八王子らしい空間づくり

桑都プライド

着物や山車が似合う“桑都”にふさわしい統一感を演出することで、八王子が誇る織物の文化、町人の歴史、まつりの伝統が日常で感じられる。

まちなか公園化

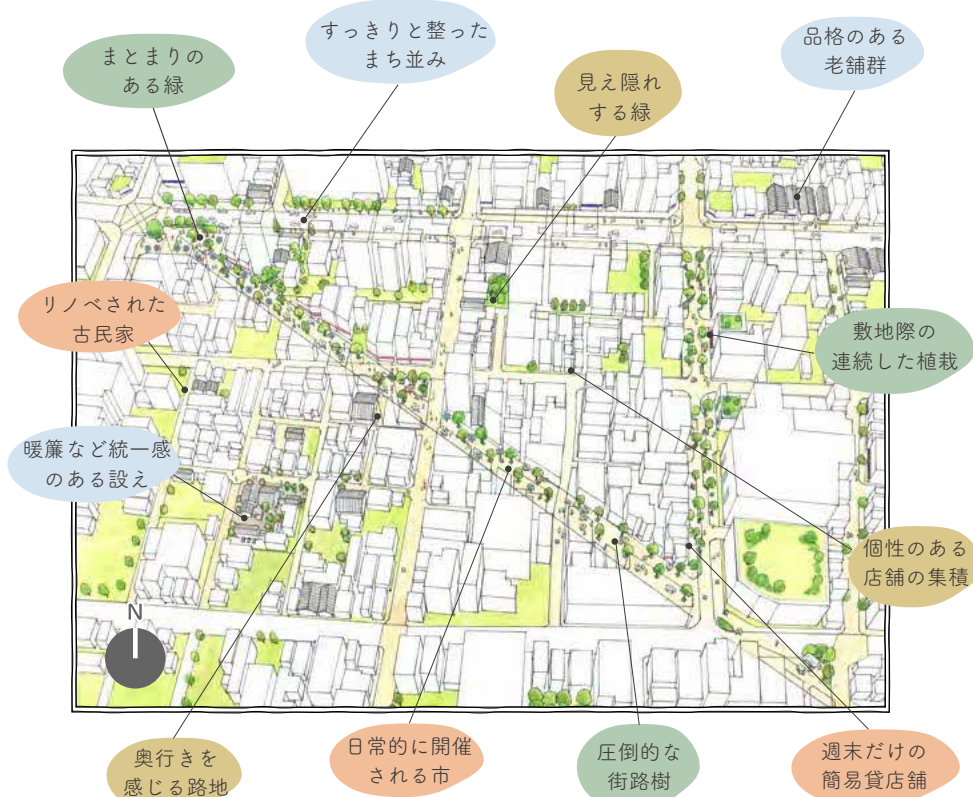
周囲の豊かな緑や水辺をまちなかの通りや店先などの余白に引込みつなぐことで、自由気ままにくつろげる公園のような心地よさが感じられる。

ウラ八王子

すっきりと整った見通しのよい表通りの裏手で、知る人ぞ知る創意工夫のある個性を表出し、集積させることで、歩き回りたくなる“ウラ”の魅力を創出する。

市街地の自由空間

八王子らしい新しい事業や取組みに挑戦することで、日常的に地域の人々や物産が集い、新たな価値が生まれる場を創出する。



5 まちのイメージを実現するアイデア

STEP 1 「八王子の歴史・文化を感じる表通り」

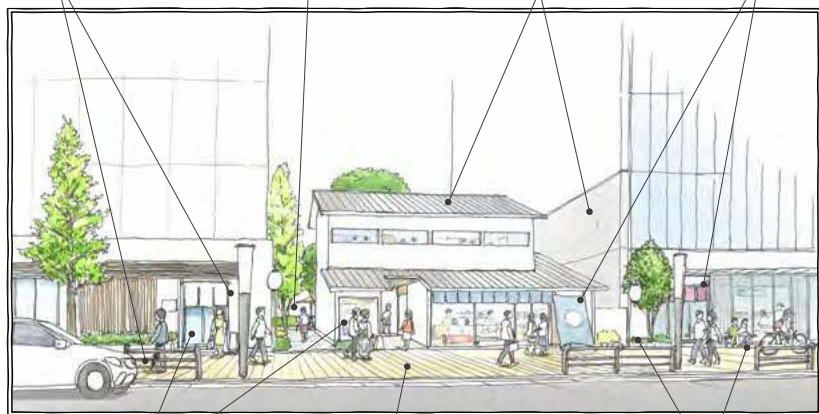
継承されてきた「織物のまち」らしさを大切にして、のれんや提灯、四季を感じる植栽など、奥にいざなわれるおもてなしの演出で、桑都の歴史文化が垣間見える八王子の表通り

歩道の照明や防護柵、公共サイン等は、歴史文化を感じさせるまち並みと調和するよう、洗練されたデザインにする。

敷地の奥に人を引き入れられるような路地や通路をつくる。

沿道建物の低層部外観意匠は、歴史文化を感じさせるよう、瓦や木材等の自然素材を活用し、耐久性にも配慮する。

建物の入口や軒先に「織物のまち」を印象付けるように伝統色の暖簾や太鼓幕を設置する。



沿道建物の低層部は、通りのにぎわいが連続するように業務・商業機能にする。

舗装は「地」のデザインとし、利用する人や沿道のまち並みが主役となって映えるように、主張しすぎないデザインとする。

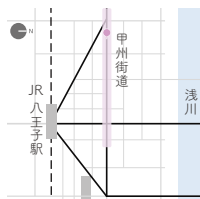
建物の入り口付近に、小休止ができるベンチや植栽地を設けるなど、「おもてなし」のしつらえにする。

イメージ実現のための取組

- ・八王子まつり等のイベント時や通常時の利用等について、道路や歩道、敷地の利用方法や使い方のルールを考える。
- ・歩きやすく、居心地の良い公共空間の整備手法を考える。

公共空間の工夫

民地の工夫



STEP 2 「自由気ままに過ごせる公園のような空間」

通りと店先の豊富な緑を生かしつつ、オープンなつくりの店舗や洗練されたデザインの設えにすることで、歩くだけでもったいない自由気ままにくつろげる公園のような空間

道路空間の照明や防護柵などについて、沿線のにぎわいに配慮するように洗練されたデザインにする。

植栽は単調にならないよう、多様な樹種の街路樹にする。

沿道建物の1、2階の低層部は業務・商業等の機能にする。



通りのなかで自由にくつろぎ、休憩できるよう、通りのあちこちにパラソルベンチを配置する。

通りに面してにぎわいを演出し連続させるよう、デザインされた置き看板やシンプルなデザイン広告等を配置する。

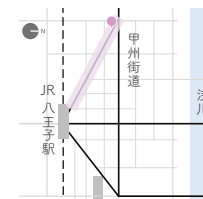
建物の入り口付近や前面のスペースは、店舗等のにぎわいに引き出すよう、パラソルベンチや植栽帯を設けるなど、小休止や飲食ができる場所にする。

イメージ実現のための取組

- ・沿道建物の外観意匠や屋外広告物のルールを考える。
- ・道路や建物前面スペースの使い方、物品等の使い方等のルールを考える。
- ・街路樹や敷地際の緑、花の維持管理等を考える。
- ・沿道の空きビル、空き店舗等の利活用を考える。
- ・歩きやすく、居心地の良い公共空間の整備手法を考える。

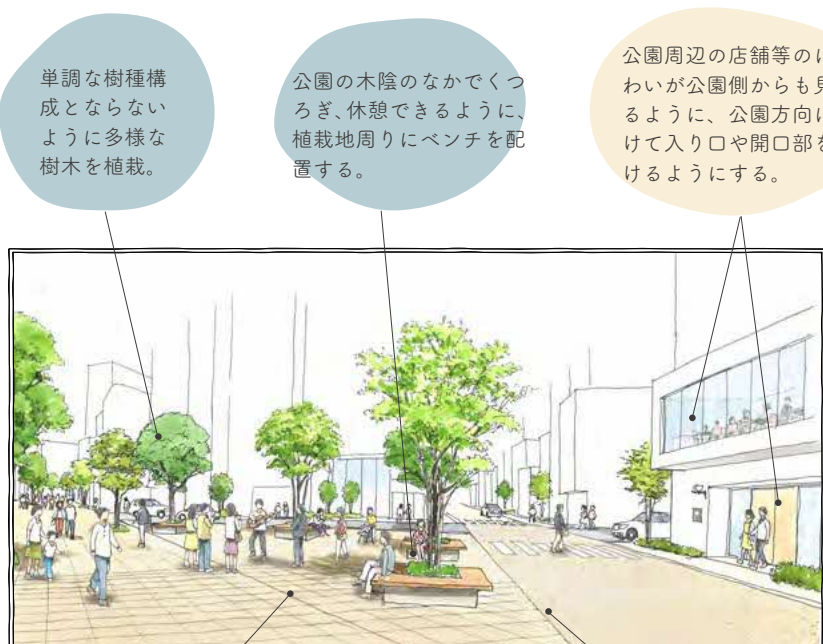
公共空間の工夫

民地の工夫



STEP 3 「人々が賑わい緑陰で憩う広場のような空間」

三角公園を含む開放的な空間を中心にして、新たな取組みを許容しつつも、シンプルながら風格のあるまち並みを維持する、日常的に人々がにぎわう広場のような場所



単調な樹種構成とならないように多様な樹木を植栽。

公園の木陰のなかでくつろぎ、休憩できるように、植栽地周りにベンチを配置する。

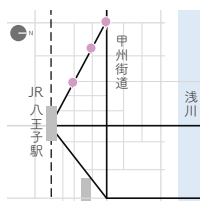
公園周辺の店舗等のにぎわいが公園側からも見えるように、公園方向に向けて入り口や開口部を設けるようにする。

公園の広場空間をイベント等多目的に活用するため、隣接道路と一体的な造りとする。

開放的な公園として利用できるように、周囲の道路との境界に空間を隔てる車止めやフェンス等施設は設けないようにする。

イメージ実現のための取組

- ・沿道建物の外観意匠や屋外広告物のルールを考える。
- ・道路や建物前面スペースの使い方、物品等の使い方等のルールを考える。
- ・街路樹や敷地際の緑、花の維持管理等を考える。
- ・沿道の空きビル、空き店舗等の利活用を考える。
- ・歩きやすく、居心地の良い公共空間の整備手法を考える。



STEP 4 「和の設えが生み出す統一感のある粋なウラ通り」

伝統と文化が残る雰囲気を大切にして、板塀や格子、暖簾や行燈、モミジやヤナギなど、和を感じる設えにより統一感を演出する、品格がありつつも個性が際立つ粋なウラ通り



路地に面して小広場を創出し、小休止できるようにする。

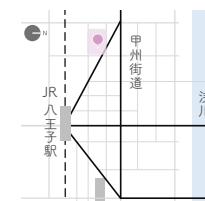
四季折々の花木や紅葉する樹木が路地の先に見えたり、塀や屋根越し見えるなど、まちや路地の季節感や情緒を創り出すようにする。

伝統と文化を醸す夜間景観を演出するため、人の目線の高さで明るさを感じられる行燈を配置する。

歴史的な雰囲気が残るまち並みや和装で訪れる人を引き立てる通りにするため、自然石等の舗装にする。

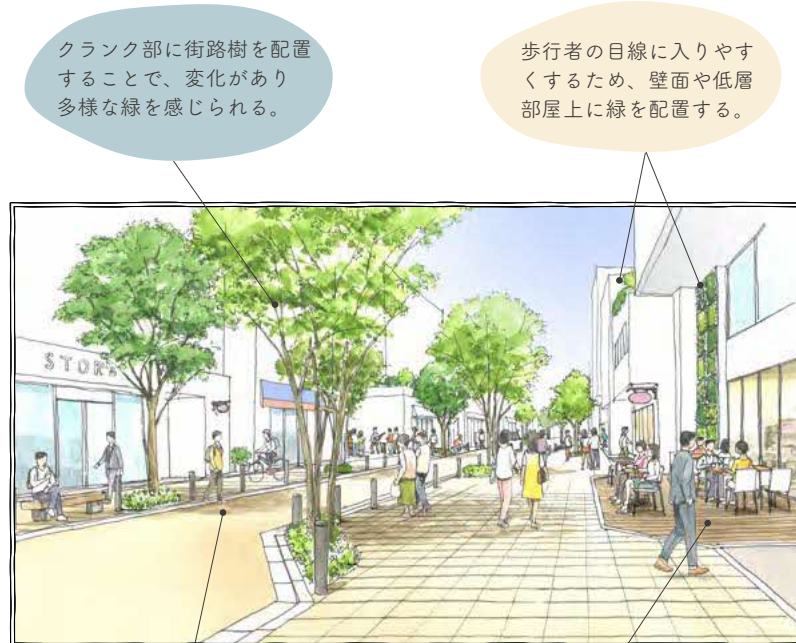
イメージ実現のための取組

- ・沿道建物の意匠や外構、屋外広告物等、伝統様式と調和するルールを考える。
- ・歩きやすく、居心地の良い公共空間の整備手法を考える。



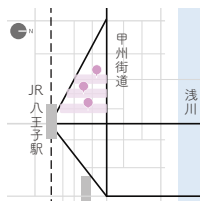
STEP 5 「樹間を縫うように人が行き交う賑わいの連続した通り」

店舗個性の表現や新たな取組みを許容しつつも、まとまりのある多種多様な緑と共存するまち並みやサインで、賑わいと風格、癒しのある印象を更新していく通り



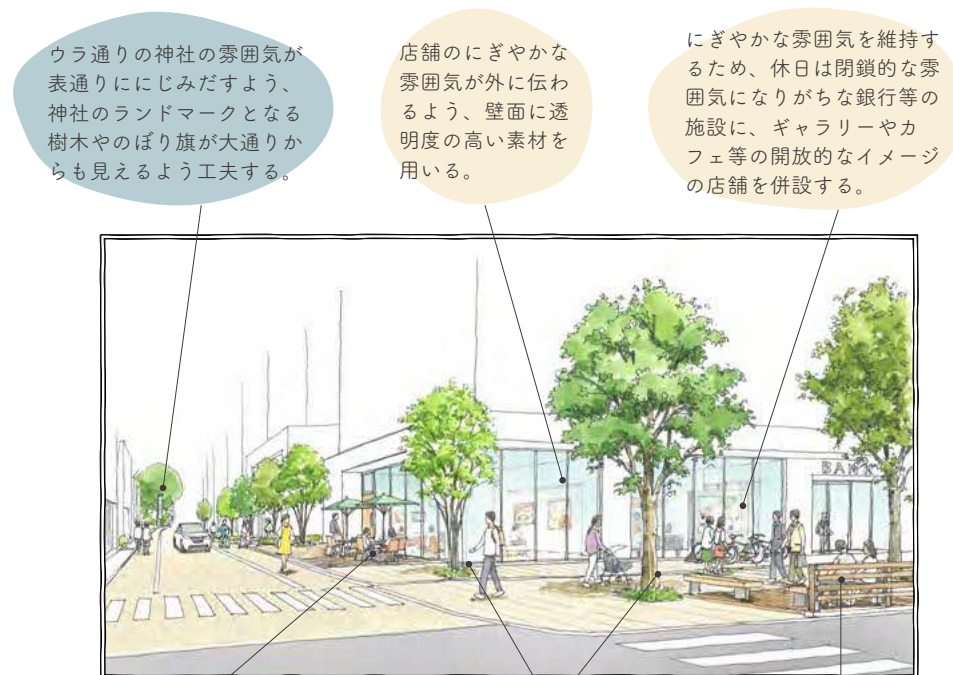
イメージ実現のための取組

- ・沿道建物の外観意匠や屋外広告物のルールを考える。
- ・道路や建物前面スペースの使い方、物品等の使い方等のルールを考える。
- ・街路樹や敷地際の緑、花の維持管理等を考える。
- ・歩きやすく、居心地の良い公共空間の整備手法を考える。



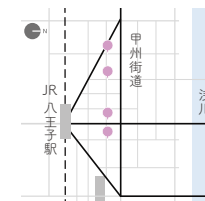
STEP 6 「ウラ八王子の雰囲気のにじみ出す大通りの結節点」

丘陵まで連続している大きな並木を軸にして、個性的なウラ通りへと繋がる道路の設えや開放的で品格のあるまち並みにすることで、ウラ通りも歩き回りたくなる大通りの結節点



イメージ実現のための取組

- ・沿道建物の外観意匠のルールを考える。
- ・道路や建物前面スペースの使い方、物品等の使い方等のルールを考える。
- ・街路樹や敷地際の緑、花の維持管理等を考える。
- ・沿道の空きビル、空き店舗等の利活用を考える。
- ・歩きやすく、居心地の良い公共空間の整備手法を考える。



STEP 7 「緑と創意工夫が新たな魅力を生み出すウラ通り」

新たな挑戦を積極的に許容し、各店の個性や世界観を表現しつつも、デザイン性の高いサインや植栽など、創意工夫のある演出で、知る人ぞ知る八王子の新しい魅力が生まれ続けるウラ通り

目を引く景色になるように、交差点部分にはシンボルツリーを配置する。

快適な歩行空間を生み出すため、歩道と道路の境界部分の段差をなくす。

店舗のサインは通りの雰囲気に合った、デザイン性の高いものとする。



単調な樹種構成とならないように、多様な樹木にする。

「ウラ」の魅力を引き出すため、舗装のデザインを連続させる。

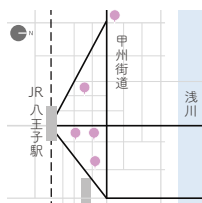
路地に落ち着きのある魅力的な空間を生み出すため、建物を道路の境界から離して建て、空いたスペースに植物を植える。

イメージ実現のための取組

公共空間の工夫

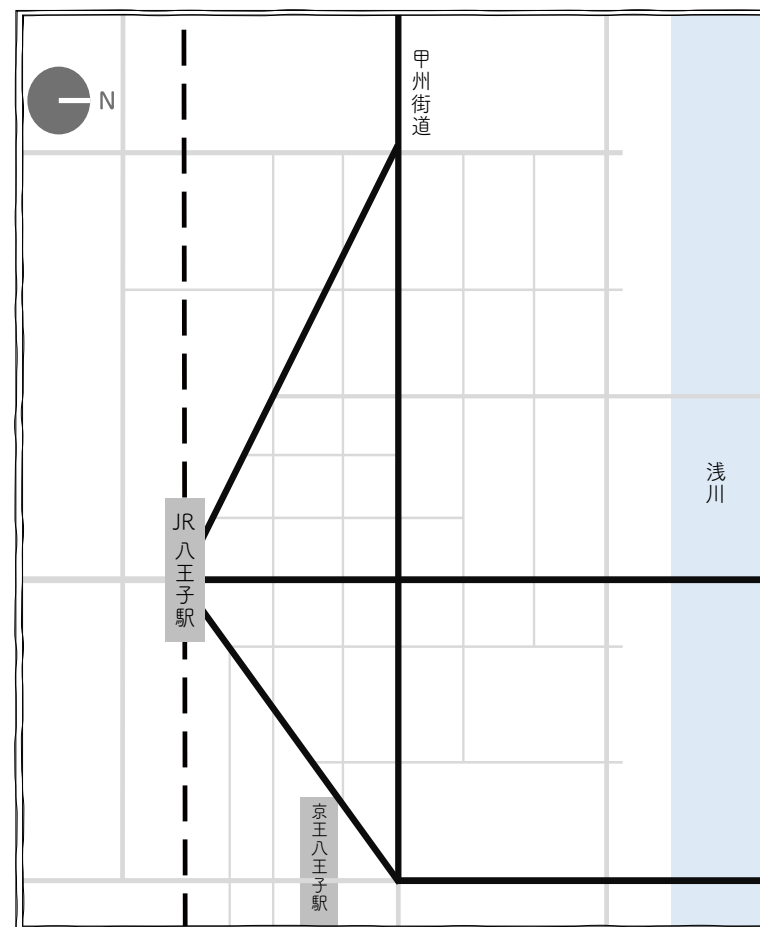
民地の工夫

- ・沿道建物の外観意匠や屋外広告物のルールを考える。
- ・道路や建物前面スペースの使い方、物品等の使い方等のルールを考える。
- ・街路樹や敷地際の緑、花の維持管理等を考える。
- ・沿道の空きビル、空き店舗等の利活用を考える。
- ・歩きやすく、居心地の良い公共空間の整備手法を考える。



あなたなら、どこで、どんなことができますか？

NEXT STEP 「



コラム3 八王子を愛しむ心の継承

市役所の建物にも、八王子市の山や川が描かれています！

昭和58年（1983年）に誕生した八王子市役所の本庁舎の外壁には、市内を流れる河川と山地が表現されています。ちなみにタイルの色ではなく向きを逆にし、光の印影で模様をつくるこだわりも。豊かな自然への敬愛の念とこだわり、そしてちょっとした遊び心を、みらいに受け継ぎたいですね。



出典：みち BOOK（八王子市ブランドブック）

まちなかイメージギャラリー



店先の庭を緑化し、もてなしのベンチやパラソルなどでパブリックな憩い空間に。



路地状敷地の演出例。アプローチの舗装と緑、置き看板などにより引き込む。



1階部分の店舗の連なりがにぎわいを創出。看板やオーニングが彩りを添える。



市の屋外広告物賞を受賞した老舗呉服店。真壁の意匠と小庇、暖簾や植木で彩る。



黒塀とヤナギやモミジで奥へと誘う路地。暖かな行灯で魅力的な夜景も演出。



のびのびと育った巨木がある神社はまちなかのオアシス。境内には湧水池も。



八王子の町人力を結集する八王子まつり。山車とひき手、見物客が甲州街道を埋め尽くす。



道路に草花を活けるイベント。子どもと一緒に花壇づくり。



市内公園での一幕。草花と統一されたテント、置き看板でイベント空間を創出。

景観絵本の作成経過

2021年3月29日 第1回ワークショップ
「まちや通りでの過ごし方」

中心市街地のいまについてのトークセッションを聴き、八王子駅周辺のストリートや公園などで実施したいアクティビティを語り合いました。

2021年5月・6月 参加学生有志
「まち歩き・まち調べ」

このエリアで大切なことは「水・緑」「歴史・文化」「にぎわい」という仮説をたて、実際にまちを歩き課題や魅力さがしをしました。

2021年7月6日 第2回ワークショップ
「まちの価値」

学生さんから、八王子まちなかの価値を提案！この提案への賛意（いいね！）が、キーワードにつながりました。

2021年11月15日 第3回ワークショップ
「未来のイメージスケッチ作成」

色塗りワークを通して、エリアで磨きたい価値（4つのキーワード）の魅力を盛り込んだスケッチを作成しました。

2022年2月9日 第4回ワークショップ
「実現方策の検討」

イメージスケッチの実現のために何ができるか、行政職員が自由に考えてみました。

2022年7月 景観絵本発行
「八王子まちなか 景観みらいものがたり」

これまで積み重ねてきた考えや想いを多くの人と共有するため「絵本」としてまとめました。



提案者（参加者）からのメッセージ集

とてもわかりやすい「景観みらいものがたり」ができました。未来とは言わず、すぐにでも実現できるのではないのでしょうか。みんなの力を合わせればできると思います。
西放射線通り商店会振興組合 前野

過去、行政主催の様々なまちづくり系の会議に出席してきました。今回も『またか』という感があります。ただ、過去の多くの会議から出た結果を再度見直す事が必要なのではないかと思います。景観は作るものではなく、店舗やそこを歩く人々が創り出すものだと思っています。

八日町商店街振興組合 加藤

正直言って、初めてワークショップに参加した時に「ずいぶん現実離れしたものだ」と思ったのですが、回を重ねると「面白い」「実現したい」と思うようになりました。ゆっくりでも確実に進めていけば素敵な八王子になると思います。

パーク壱番街商店会 橋本

「30年後」と考えた時に、まず頭に浮かんだのは、「私は生きてないな」ということでした。そのくらい先のみらい。それが、こんな風に人がつどい、居場所があり、楽しく話せたり、ホッとしたりできる町になっていたらすてきだと思います。多くの方にかかわっていただきたいです。

八王子駅北口商店会 清水

時代とともに新しい景観が官学民（産）によって提案され大変ワクワクしますね。描かれた絵本のページは道標の点です。この点を線で結び展開し、スピードをもって具現化していけるのでしょうか。まちなみ景観課が役所内で、常に一石を投じる希望の課になります様になればいいですね。

中町町会 三浦

深い歴史を持つ八王子の過去と現在、未来を繋ぐまちの景観について、地域の皆様と真剣に考えて参りました。「八王子らしさ」を大切に、まずは駅の周辺から、やがては全体に素敵なまちの姿がにじみ出ることを願っています。

工学院大学大学院 松村

市民が「八王子の景観」を意識してワークショップに参加し、考え、アイデアを出していく試みは今後のまちづくりとしては非常に重要だったかと思っています。今後は市民のアイデアを実際に計画を担う専門家に委ねるにあたり行政が間に入り実現に向けて具体的な調整を図ってほしいと思っています。

中町地区まちづくり協議会 石川

私はワークショップを通して行政と市民の方々が本当に八王子をともに良くしていきたいという想いを感じ、それが本当にすごいと思いました。そして、この意義ある活動に少しでも参加できたことに誇りを感じています。この活動の賜物である絵本が今後の発展につなげられることを心から願っております。

工学院大学 林

私はこのWSに参加するまで八王子に訪れる機会が少なかったのですが、今回の機会を通じて、八王子のまちなかに散りばめられた価値にたくさん触れることができました。是非、それらの価値を活かし、ワークショップで提案されたような素敵な空間が実現することを楽しみにしています。

国士舘大学大学院 田口

様々な方の意見やアイデアが集約した素敵な一冊になっていると感じます。この絵本やワークショップの取り組みを通して、多くの方に八王子の魅力を感じてもらえればと思います。

国士舘大学 川嶋

八王子駅はチェーン店が多くわざわざ出向きたいという街ではなかったのですが、今回のワークショップを通して古くからの歴史が今も根付いている点や路地裏に素敵なお店があったりと“行きたくなる”場が多くあることを知れました。

東京都立大学大学院 海老沢

ワークショップで参加者の方々と議論し、景観というフィルターを通して今まで知らなかった八王子の魅力などを知ることができました。また取りまとめられた景観絵本が八王子駅周辺に相応しい景観形成の一助になると嬉しく思います。

工学院大学大学院 高橋

毎回の議論やまち歩きは私にとってとても良い経験でした。やはり、自分たちで話し合っただけのものではなく、今回のように形になり、それを見た方にまちづくりの良さが伝わり、まちづくりへの関心に繋がっていく事が一番いいなと思います。また、八王子まち歩きしたいな～。

国士舘大学 細田

ワークショップを通じて、多くの方の八王子への素敵な想いを知ることができました。絵本を通じて八王子というまちにさら親しみが生れ、よりよいまちづくりに繋がりますように。

国士舘大学 宮本

絵本で描かれた世界のイメージ持ちつつ、八王子の貴重な歴史や文化、生活空間を尊重しながら未来に向けた新しい価値創造を街並景観等で実現されることを願います。またその景観を活用した演出や新たな仕掛け、活動の育成にも大いに期待します。

東京都立大学大学院 手塚

八王子のまちなかには、この絵本に描かれたもの以外にも、沢山のイメージやアイデアの可能性が眠っています。これからも、このまちを楽しみながら、色んな未来の姿を思い描いてみてください。

東京都立大学助教 野田

「景観」という言葉になじみのない方も多いかと思いますが、これからの八王子の景観を考えるための、親しみやすい絵本ができたと思います。ぜひ絵本を手にもち歩いてみてください。素敵な八王子を発見できると思います。

(株)地域計画建築研究所 坂井・山崎・水谷・小島

今回の取り組みは、市民や学生のみなさんと、八王子中心部の原点とは何かと問いかけながら、風土のなかで育まれてきた八王子の都市文化を再発見する作業だったように思います。みんなでまちを歩き、話し合うなかで、今も甲州街道が八王子の中心でありつづけていること、その横丁にまちの魅力を高める素敵な店舗が増えていること、宿場と共に栄えた中町の花街が新しい価値を生み出しつつあること、よく眺めればそこかしこに昔からの面影が残っていること。そして何より、甲州街道を中心としたまちなかにこそ、八王子の魅力があり、それを伸ばし育てていくことが、これからの八王子中心部の目指す姿だと思いついたことは、八王子の将来にとって、とても大事な出来事だったと思います。でも、まだ始まったばかり。本番はこれからです。近い将来、この冊子が目標像ではなく、まちを歩くガイドブックとして使われるようになるよう、みなさんと一緒に、いろんなことに取り組んでいきたいと思っています。

どうもありがとうございました。

国士舘大学教授 二井

大学生の時八王子に住んでいました。東西に長い八王子は自然豊かな高尾周辺、甲州街道の銀杏並木が印象的な西八王子、八王子駅北口は長崎屋や丸井が元気で賑わいが印象的でした。南口は閑散としていてまだ小さな製造業があって筆箱をつくるアルバイトをして銭湯にも良く行っていました。映画館やビリヤードもちょっとドキドキしながら行ったものでした。そういった記憶に残るイメージは全てとって良いほど無くなりました。経済状況や環境の変化でまちは変わっていきます。うっかりすると外的要因に流されていきます。そうならないよう八王子を魅力的なまちに行きたいと言う強い意志を持ち続けて欲しいと思います。そのためにこの絵本はとても参考になると思います。

30年後にこの絵本と現実のまちを比較する会を開催したいですね。

ナグモデザイン事務所代表 南雲

令和3年(2021年)4月時点の所属を掲載しています。そのほか、北島さん・村井さん(八王子市中心市街地活性化協議会)、市民の方、学生さん、八王子市職員の方にもご協力いただきました。

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

八王子駅周辺の未来の景観を考える
ワークショップ・景観デザイン会議
提案書

発行・編集 八王子市まちなみ整備部まちなみ景観課

発行年月 令和4年(2022年)8月